

アート、精神、コミュニティ

AIT（東京）－広東時代美術館（中国・広州）－べてるの家（北海道・浦河）による協働レジデンスプログラム

艺术，精神，社区

AIT（東京）－广东时代美术馆（中国广州）－ Bethel House（北海道浦河）合作艺术驻留项目

NPO 法人アーツイニシアティブトウキョウ [AIT/エイト] は、中国、広州の時代美術館とべてるの家との連携により、アートと精神、コミュニティについて多角的に考察するアーティスト・イン・レジデンスプログラムを実施しました。

広州内外から 50 人（組）を超す公募によって選ばれたアーティスト／ダンサーのアーガオ（ErGao）は、東京を基点に 42 日間滞在し、1 月 26 日から 2 月 6 日までは、統合失調症等をかかえた当事者の地域活動拠点「べてるの家」がある北海道浦河町を訪れ、メンバーやソーシャルワーカーと共に時間を過ごしました。

生きる苦労をメンバー自らが研究するべてるの家の実践「当事者研究」に参加しながら、毎日、その日の気分や懐かしい歌に即興で動きをつけるエクササイズをしたり、大勢が集まったワークショップを通して交流を深めました。東京と千葉でも、身体性を交差させ記憶を解きほぐすようなワークショップを開催。子どもから大人まで幅広い参加者が、対話からなるダンスの協働的創造を経験しました。

この冊子は、2020 年 1 月 14 日～2 月 29 日まで 6 週間に渡る本レジデンスプログラムの活動をまとめたものです。

NPO 非営利組織 Arts Initiative Tokyo [AIT] 通过与广东时代美术馆和 Bethel House 合作，实施了关于艺术、精神、社区多角度考察的艺术家驻留计划。艺术家 / 舞蹈家二高从广州市内外 50 多个团体中脱颖而出。他以东京为基点驻留了 42 天，从 1 月 26 日到 2 月 6 日，他去了北海道的浦河町，走访了双向情感障碍患者的活动基地“Bethel House”。并在那里和成员、社工们一起度过了一段时间。

一边参加 Bethel House 由成员自己研究生活艰辛的“当事者研究”的实践，一边每天根据当天的心情或是怀旧老歌即兴的运动和练习，也将很多人聚在一起做工作坊来加深交流。包括在东京和千葉，也举办了通过身体性互相交叉解开记忆的工作坊。从孩子到大人，各种各样的参加者都体验了由对话中合作创作的舞蹈。

这本小册子总结了本次为期六周的（2020 年 1 月 14 日～2 月 29 日）驻留计划的活动内容。



photo : Nozomi Izumi

ErGao | アーガオ（広州生まれ、同市在住）

ダンス、映像、インスタレーションなど、さまざまなメディアと実験的な手法を用いながらダンサー、振付家として活動。2001 年、広州の広東歌劇学校を卒業後、広東舞蹈学校にてコンテンポラリーダンスを学ぶ。2006 年には、奨学生として香港の演藝学院を卒業。2007 年、自身のスタジオとして Ergao Dance Production Group (EDPG) を広州に設立し、シアターダンス、ダンスフィルム、コミュニティでの創作と教育を中心に継続的な活動を行っている。身体を最も重要なメディウムとして、中国国内における社会、文化的アイデンティティ、ジェンダーなどの題目に触れる作品を生み出している。

二高 | 何其沃（生于广州，现住广州市）

出生于广东阳江，以舞蹈、影像及装置等作为多元媒介的舞者 / 编导，2001 年于广东粤剧学校毕业后，2002 年就读于中山大学与广东舞蹈学校联合办学的现代舞大专班，随后，2006 年以全额奖学金毕业于香港演艺学院现代舞专业。二高表演，由舞者 / 编舞二高于 2007 年在广州创立，包括舞蹈制作、Ergaoer 舞蹈团及小身体舞蹈团，专注于舞蹈剧场、舞蹈电影、社区艺术及舞蹈教育。舞蹈电影与社区艺术，同时打造青年创作者平台。“内核”在于以身体做为审视焦点和主要介质，以多元的创作方式，荒诞且严肃地阐释中国社会和文化中身份与性 / 别等诸多问题。



精神の輪郭を描き出し、分かち合うこと

堀内 奈穂子 NPO 法人アーツイニシアティブトウキョウ [AIT / エイト] キュレーター

本プログラムは、AIT が近年取り組むアートと「ホリスティック (全体性、より良く生きること)」の考察、また、アートと福祉の協働を目指す「dear Me プロジェクト」² の発展として「アートと精神、コミュニティ」をテーマに据え、中国広東省広州市にある時代美術館と、北海道浦河町で活動する社会福祉法人 浦河べてるの家との連携により実施した。¹

2020 年 1 月末から、アーガオの滞在と時を同じくして、中国の武漢を皮切りに新型コロナウイルスが発生し広がり始めた。それを端にする一抹の不安は、その後に続く世界的な混乱を予兆していたように、2 月末の帰国時には航空機の減便や欠航が発生し、人々の「移動」が困難な事態へと進展、国内でイベントの自粛や中止が要請され、「接触」はもはや非日常的な行為となった。世界中で多数の死者を出しているパンデミックは、瞬間に私たちの生活を大きく変化させ、同時にメンタルヘルスケアは喫緊の課題となった。

こうした状況において、アーガオによる身体表現とべてるの家での滞在経験、そして多様な参加者とのワークショップは、表現を通して苦勞を分かち合う一つの「場」のあり方を探り、実践する機会となった。べてるの家は、統合失調症などを持つ当事者が「自分の専門家」として、生きる苦勞と付き合う方法を研究する「当事者研究」の実践で知られる。当事者の自主的な表現や対話の場を促し、生きづらさに立ち向かうその哲学は、対話を身体表現に置き換え、真摯に自己を開き他者を迎え入れるアーガオの思考とも重なる。こうした「精神」の表出は、

神秘思想家、哲学者、教育者でもあるルドルフ・シュタイナーが音声や言葉の根底にあるものを「目に見える言語」として表現し、宇宙的な力と結ばれる運動芸術として創造した概念のオイリュトミーとの関係性も想起させる。³

私たちは、これからも予期せぬ疾病や気候変動など未曾有の環境変化を体験するに違いない。そこはかたない不安を抱える時代に、心の健やかさは今まで以上に、生命維持に不可欠な要素になるはずだ。これからのアートの有用性を想像するとき、精神の赴きにゆだねて瞑想的に世界を認識することは、論理的な思考のみでは解明しきれない状況に適応する一つの選択肢になると考えられないだろうか。

最後に、アーガオをはじめ、べてるの家および「新人 Hソケリッサ!」のみなさん、また、本プログラムに参画、多大な協力をいただき、2020 年春まで広東時代美術館に勤務されたヴェロニカ・ウォン氏、パン・シミング氏、そして、べてるの家の活動に深く関わり、NPO 法人 BASE を主宰する向谷地宣明氏に深く感謝の意を表したい。

¹AIT のウェブサイトワークショップの映像記録を公開予定。本紙では主に、ワークショップの参加者やゲストによる考察や感想をイラスト、写真とともに収録した

²AIT が 2016 年に開始した、さまざまな環境にある子どもたちとアーティストによる表現と学びのプログラム <http://dearme.a-i-t.net/>

³R. シュタイナー著 西川隆範編訳『シュタイナー芸術と美学』(平河出版社、1987)

描出精神の輪廓、互相分享

堀内 奈穂子 NPO 非営利組織 Arts Initiative Tokyo [AIT] 策展人

本項目は AIT 近年致力於藝術と Holistic (全体性、更好地生活) の考察、同時、作為以藝術與社會福利的協作為目標的“dear Me 項目”² 的發展、以“藝術與精神、社區”為主題、在中國廣東時代美術館和在在北海道浦河町的社會福利法人浦河貝特爾之家合作實施的。¹

從 2020 年 1 月末開始、與二高的駐留時間相同、以中國的武漢為開端、新型冠狀病毒疫情開始蔓延。從此這一抹不安預示著全球的混亂將隨之而來。二月末二高回國之時航班已經減少或停飛、人們的“移動”變為越發困難的事。日本的活动被叫停或主动取消、讓“接觸”成為一種非日常性的行為。這場造成全世界多人死亡的流行病、在瞬間徹底改變了我們的生命、同時、精神衛生保健也成為一個緊迫的問題。

在這樣的情況下、二高的身體表達和在貝特爾之家的駐留經驗、以及與不同參與者的工作坊作為通過表現來分享辛勞的一個“場所”所在、為我們提供了一個探索和實踐的機會。

Bethel House 以精神分裂症和其他病症患者的當事者作為“自己的專家”來實踐研究如何應對生活的辛勞的“當事者研究”而聞名。作為促進當事者自主表現和對話的場所、這種如何面對生活艱難的哲學、正與二高將對話和身體表現進行轉換、真誠地敞開自我接受他人的思想相重疊。這種對於“精神”的表現也讓人聯想到了音語舞 (Eurythmy) —— 神秘主義思想家、哲學家、教育者的魯道夫・施泰納 (Rudolf Steiner) 將基本的聲音和語言作為一種“可見的語言”來表現出的與宇宙力量相結合的動感藝術的概念。³

我們今後一定會體驗未曾有過的疾病和氣候變化等環境變化。在這個懷抱著不安的時代、心理健康應該比以往更加成為維持生命不可或缺的要素。在想像今後藝術的有用性時、委託精神用冥想來感知世界、難道不是一種適應只靠邏輯性思考無法解釋狀況的選擇嗎？

¹工作坊的录像将在 AIT 官网公开。 本册主要收录工作坊学员和嘉宾的考察和感想、插图和照片

²AIT 是于 2016 年开始由不同背景的孩子和艺术家共同演绎和学习的项目 <http://dearme.a-i-t.net/>

³作者：鲁道夫－斯坦纳 翻译：西川隆范 (编著)《斯坦纳的艺术与美学》(平川出版社、1987 年)

友情万歳 — 家に招待してくれて、どうもありがとう。

アーガオ / ErGao ダンスプロダクショングループ「二高表演」ディレクター、振付家

6週間にわたる日本でのレジデンスプログラムは、私にとって、今までで最長日数の参加型アート（Participatory Art）のような体験でした。これまで私は、自分の作品の多くを演劇や映像として上演、もしくは公共空間で発表していました。今回のために創作のリサーチも少しずつ方向性が定まり、特に「より多くの人々と共に暮らすこと」について関心が高まっていました。

このプログラムでは、北海道浦河町の「べてるの家」に滞在し、メンバーと一緒にミーティングや作業に参加したり、レクリエーションやダンスなどを行いました。おそらく初めての中国からのゲストだったからか、毎日、彼らは沢山の小さなプレゼントをくれました。生き生きとした様子で、宇宙人の話を毎日聞かせてくれるあーさん。一日3時間はパソコンに向かって歌い、とりわけビートルズの曲「イマジン」が大好きなまつもとさん。一日中、部屋の片隅に静かに座り、水飲みが止まらない苦労をもつたいちさんは、まるで絶え間なく流し込まれる水に囲まれた孤島にいるかのよう…。私は小型カメラのGoProを使い、同時に発生する多くの瞬間を記録し、彼らの作りあげた環境に溶け込もうとしました。一番感動したのは、故郷と歌について話している時、それぞれの人が話した故郷の情景や山、食べ物などの全てに「既視感」を感じたことでした。そして、私たちが今直面し、失われつつあるこれらの伝統的な事物に「楽しくなるような音楽」を添え身体を軽く動かして、その場は穏やかな楽しいエネルギーに溢れていました。

東京で出会ったアーティストのアオキ裕キさんは、アメリカ滞在中に目の当たりにした9.11をきっかけにニューヨークから東京に戻り、ダンスの本質

と意義について考えるようになったと言います。そして、15年前から路上生活を経験した人々と一緒にダンスを創作する活動を始め、「新人Hソケリッサ!」というダンスカンパニーを立ち上げました。彼らを追ったドキュメンタリー映画「ダンシングホームレス」は、ちょうど封切りされるところで、そこにはたくさんの感動的なストーリーがあり、それぞれのメンバーは人生に迷いながらも各々の問題と向き合い、踊り、放浪し続けていました。

おそらくこれら二つの体験は、ダンスの機能である「交流と交換」についての有効な説明となっていると思います。ダンス、もしくはアートは「言語」による交流と機能を折り合いのプロセスで生み出します。もちろんダンスそのもののスキルも、新しく発展しました。創作者として、これらの個人的で貴重な体験や感想を、いかに作品の「集體的な体験」、「集合的な空間」に転化していくかが、次の思索の重要な部分になると思います。このレジデンスプログラムに触発され、広州での私のグループ「ErGao Dance Production Group」（二高表演）もゆっくりと変わり始め、参加者が能動的に関与する表現を活動の主要な部分にする試みがされています。

かつての私は、芸術とは天空の星のようなもので、それを手に入れるための創作は、まるで星を模した「ダイヤモンド」のようなものだと感じていました。その後、ダイヤモンドは高いところにあり、大部分の観衆には必要のないものであることが次第にわかってきました。今は、自分の仕事が「ガラス」のような存在であることを望みます。誰もが持つことができ、泥の中で遊んだり、テーブルの上に並べたりできる、手軽でシンプルで、生活感があり、とても個人的なものであることを。

友谊万岁 — 谢谢邀请我来你家作客

二高（何其沃）二高表演 艺术总监 / 编舞

为期7周的日本驻地计划，这是我最悠长的一次参与式艺术经验。以往我的作品多以剧场、影像或是公共空间的形式呈现，创作素材的寻找也逐渐固化，而和更多的人生活在一起会让我更加“敏感”。

我住在北海道浦江的Bethel House里，与这里的member一起渡过会议，劳作，休闲或是舞蹈的时光，每天他们都送我很多小礼物，我想可能是因为我是第一位中国客人吧。A姐每天讲着生动的外星人故事；歌手先生每天对着电脑唱着小三小时歌曲，尤其热爱那首《Imagine》；静静坐在角落一天，爱喝水的哥哥是一座四周不断浇灌水的孤岛……我用GOPRO记录一起发生的很多瞬间，尝试融入由他们共同建构的生态。最让我动容的是，当我们提及故乡与歌谣时，每个人口中描述的故乡、山河与食物，都是那么“似曾相识”。而这些我们所面对的正在发生或是正在消逝的传统事物，伴随着可以“让人产生快乐”的音乐，可以让身体轻快的动起来，给予大家轻松且愉快的能量。

而Yuki Aoki先生是在东京遇见的艺术家，他在经历911事件之后回到东京，开始思考舞蹈的本质意义，15年以来一直和流浪 / 露宿

者创作与跳舞，由他创立的Sokerissa舞蹈团，将要上映一部纪录片《Dancing Homeless》，里面有很多动人的情节，每个人在生活里总有暂时的迷失，但总能找到与这些问题相处的方式，跳完舞，继续流浪。

或许这些都可以归纳进这次驻地经验里，它有效的阐释了舞蹈的功能性：交流与交换。在相处过程中，舞蹈或是艺术产生了“语言”的交流功能，当然，舞蹈这个技能也让我交换到了新的技能。作为一个创作者，如何将这些珍贵的个人经验及私人感受转化成为作品里的“集体的经验”以及“集合的空间”将是我接下来思考的重要部分。受到这次驻地计划的启发，我在广州的机构二高表演也将慢慢开始转型，尝试将参与式艺术作为工作中的重要部分。

以前总觉得艺术就像天上的星星，为了得到它，创作就像一个模仿星星的钻石。然后慢慢发现钻石这个东西高高在上，大部分的观众是不需要的。于是我会更希望自己在做的事情像玻璃，每个人都可以拿在手上，在泥土中戏玩，也可以放在桌子上摆放。轻便，简易，生活，非常个人。



illustration : Yuko Suzuki

At Bethel House

中国に行っても忘れないぞ
みさおさん

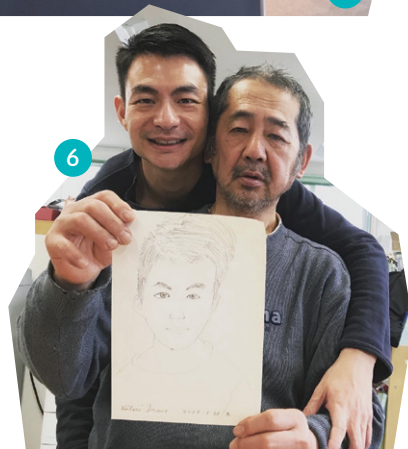


メンバーがよこさんだった
池松さん
どよふともダンスになる
みーさん

体があたたかくなった。中国のチャイナ
東さん



日常全がダンスだと思えた
しおさん



① べてるの家と連携して行き来するメンバーもいる、精神科クリニックひがし町診療所。毎週火曜日には、ジャズベーシスト立花泰彦氏による即興を楽しむ音楽セッションが行われる
② べてるの家で行われる作業のひとつ、刺繍の得意なメンバーがひとつひとつ丁寧に衣服やグッズに刺繍を施す
③ アーガオによるダンス・ワークショップ「How are you Dance?」の様子。浦河べてるの家のメンバーとスタッフ、ひがし町診療所のメンバーが参加した(2020年2月5日、浦河町総合文化会館)
④ ダンス・ワークショップで自分の庭にあつたら嬉しいものを発表する際、自転車の空気入れの動作をするべてるの家のメンバー、山さん
⑤ ダンス・ワークショップ終了後、皆にお礼のダンスを踊るアーガオ(③④⑤写真:泉望)
⑥ アーガオのポートレイトを描いてくれた、べてるの絵描き、メンバーひーさん
⑦ べてるの歴史はここから始まった。浦河教会の隣にある青い屋根の元祖べてるの家。べてるのスタッフ伊藤さんと

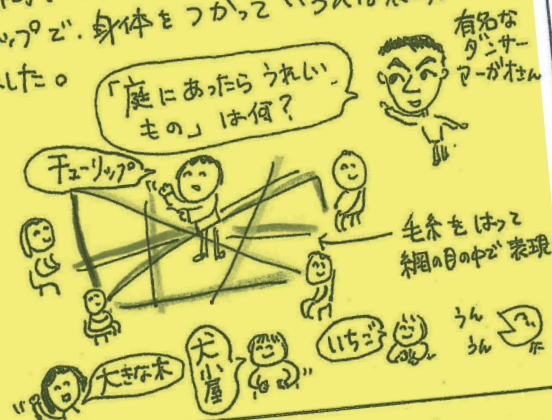
① 和 Bethel House 合作往来的成员、精神科診療所東町診療所。毎週二、将举行爵士贝斯手立花康彦的即兴音乐会
② 在 Bethel House 进行的工作之一、擅长刺绣的成员——认真地在衣服和商品上刺绣着
③ 二高的舞蹈工作坊「How are you Dance?」的样子。浦川 Bethel House 的成员和工作人员以及东町診療所约 50 名成员参加了这次工作坊(2月5日、浦河町综合文化会馆)
④ 以「如果自己的庭院里会有很开心的东西」为主题、用动作来表现自行车打气的 Bethel House 成员、山先生
⑤ 跳舞向大家道谢的二高(3,4,5 图片:泉望)
⑥ 在 Bethel House 的画家、成员 H 先生为二高画了一幅他的肖像
⑦ 浦河教会旁边的蓝色屋顶是原来的 Bethel House。Bethel House 的历史是从这里开始的。和工作人员伊藤先生合影留念



illustration :
Kao-chan

アーガオさんと身体表現

世界的アーティストのダンサー アーガオさんのワークショップ。身体をつかっていろんな表現をしました。



「庭にあつたらうれしいもの」のはずがそのうちなぜか...

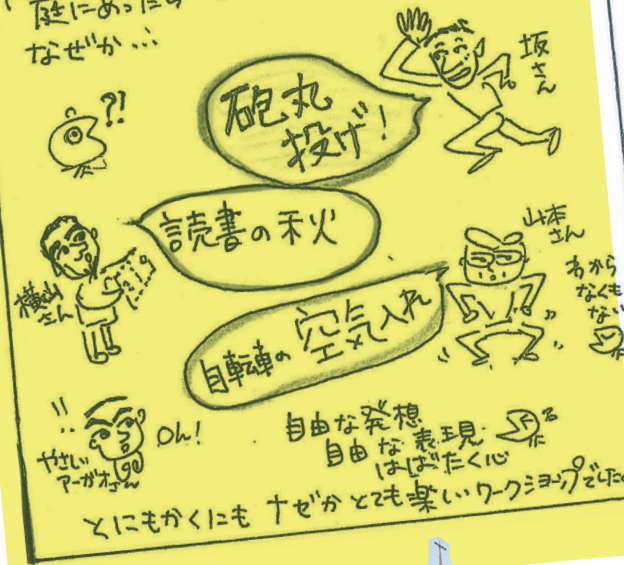


illustration : Yuko Suzuki

セッションでよかった
伊藤さん



浦河に滞在した12日間、アーガオは、“問題だらけ”で“非日常が日常”になっているべてるに馴染みつつも、新たな“非日常”をもたらせてくれました。べてるでは“弱さの情報公開”を大切にしていますが、私たちにとって嬉しかったのは、アーガオも、ダンスの表現者や指導者としてではなく、一人の苦勞を抱えた人間として、彼自身の家族関係やダンサーとしての葛藤を、私たちに率直に語ってくれたことです。最後のワークショップで一緒に創り上げたダンスは、メンバーにもスタッフにとっても心躍る、記憶に残る体験になりました。アーガオ、また来てね！

樋口 倫崇 べてるの家 ソーシャルワーカー

在浦河贝特尔之家驻留的12天里，二高已经习惯了Bethel House的“满是问题”以及每天经历“非日常”的生活，但也给我们带来新的“非日常”。在Bethel House重视的是揭露自己的弱点，令我们感到欣慰和喜悦的是，二高没有以一个艺术家或舞蹈老师的身份，而是作为一个同样抱有辛劳的人，坦诚地讲述了他的家庭关系和作为一个舞者的纠葛。在最后的工作坊中一起创作的舞蹈，无论是对成员还是工作人员来说都是让人心动、难忘的体验。二高，下次再来哦！

樋口 倫崇 Bethel House 社会福利工作者



みえちゃん



のんちゃん



えつこさん

おは日本に来て下さい



めっち



たいちくん



ゆうくん

アーガオに見せてあげたいと、眺めの良いスポットに案内してくれたべてるの家のメンバーめっちさんとたいちさん、スタッフ樋口さん

Bethel Houseの成员和工作人員の樋口先生帶二高看自己认为風景很好的地方



コミュニケーションの言語

ヴェロニカ・ウォン

広東時代美術館パブリックプログラムチーフキュレーター

2019年9月、広東時代美術館とAIT、べてるの家とのコラボレーションによるレジデンスプログラムが正式に始動した。中国各地から50名以上のアーティストが応募し、合同の議論と投票の結果、アーガオの参加が決定した。アーガオは、独自の芸術言語と多様なグループとの協働経験をレジデンスのプロセスに活用した。これはAIT、べてるの家のメンバーと彼自身にとって忘れ難いものであり、創造的意義に満ちたプロセスでもあった。

このプログラムは、多様なコミュニティの中でアートが果たすコミュニケーションの役割と、現代アート、コミュニティ、ソーシャルケアとの間の発展的な関係を探るために企画された。私たちは、アートがそれ自身の領域のコミュニケーションや有効性だけに限定されている状況を打破する機会が必要だと考えている。奇しくも、アーガオの日本滞在与時を同じくして、COVID-19の影響により

各国間の交流やコミュニケーションが困難な状況になった。それにより、このプログラムの緊急性と先見性について、さらに考えさせられることになった。私たちは、言語や文化、立場や考え方の違いによって、より多くの非コミュニケーションやコミュニケーションが不可能な状況に直面している、あるいは直面することになるだろう。

このような環境のもと、アーティストや芸術機関は今後、どのように新たな試みや思考、取り組みによってアートと社会を作っていくのか。アーガオのレジデンスプログラムで得た経験と成果は、この問いに答える重要な一歩になると信じている。また、継続的な時代美術館とAITの交換プログラムによる日本人アーティストの訪中、および現地でのさまざまな機関やコミュニティでの体験、そしてそこから生み出される効果的なコミュニケーション言語の協働的探索に期待している。

The Language of Communication

王 莉莉

原广东时代美术馆首席公共项目策展人(广州)，现任大馆当代美术馆教育与公共项目策展人(香港)

2019年9月，广东时代美术馆与AIT、Bethel House合作的艺术家驻地计划正式启动，通过公开征集，我们收到超过50份来自全国各地的艺术家申请，经过共同讨论及投票，决定支持二高（何其沃）前往参与驻地。二高将他独特的艺术语言，和与多样化群体合作的经验运用在驻地过程中，这对于AIT、Bethel House的成员以及艺术家自身都是一个既难忘又充满创作意义的过程。这个项目的最初设想，是希望共同探讨艺术在多元化社区中所发挥的交流沟通作用，以及当代艺术的角色与社区及社会关怀领域之间不断变化的关系。我们认为我们需要一个项目/契机，打破艺术只局限于在艺术领域的交流与有效性。而自

二高在2020年初到访日本驻地以来，在不同国家因疫情而发生的各种无法交流和互通的问题，令我进一步思考这个合作项目的迫切性和前瞻性。我们正面临，或即将面临，更多的由于语言文化差异，立场与想法分歧引起的不沟通或无法沟通。艺术，艺术家，和艺术机构在这种大环境下，我们能够作出什么努力和新的尝试，新的思考和工作方式去重新建立艺术与社会，甚至更广泛的连接和关系。我相信我们通过二高的这次驻地所获得的经验和成果，会是我们日后往这个方向前进的重要一步，我也十分期待下一个驻地交换的日本艺术家到访，以及他与本土不同机构与群体的合作体验，共同探索一种有效的沟通的语言。

「制約」の中の「自由」

向谷地 宣明 MCMedian 代表取締役、NPO 法人 BASE 代表理事

アーガオ、2週間のべてるの家での滞在でもいい交流ができたようですね。べてるのメンバーにも「アーガオロス」が何人もいると聞いています。

その時期に、一緒に浦河に行けなかったのが残念ですけど、私が東京などで参加したアーガオワークショップでは一般的な「ダンス」として想像されるような、決められた振り付けを覚えて踊るというようなものではなくて、より即興的で共同創造的なものだったと思います。

たとえば、パートナーを組んだ相手が私の肩を掴むと、それに呼応して自分も相手の背中に触れる。するとまた相手は体を翻して私の膝に触るというように、その型破りな連鎖のなかで自分でも思いもよらなかった動きになっていく。

他者（パートナー）の動きに呼応するという「制約」のもとに「自由」に動くというときに、その他者はけっして障害ではなくて、むしろ、そのなかにこそ生まれる豊かな可能性や表現というものがあると教えてくれます。それって、人間の集団的な営みの本質そのものですね。なので、その渦中にあるみんなの様子は普段のプログラムなどで見せている顔とはまた違って、こんなにも多彩なエネルギーを持っていたんだということにあらためて気づかされました。

そのなかで一貫して感じたのは「非規範」的な営みであり、場づくりだったと思います。確固たる「規範（振付け）」がないので、基本的に「できる/できない」という問題がない。各々の仕方に参加すればいいのです。故に、いかなる「障害（disability）」もない。それはアーガオの説明のなかにもありました。「ダンスフロア」というのは、立場やジェンダーなどあらゆる社会規範から「自由な空間」なのだと。「私」とはそもそも様々な「規範」に従属しているものです。「病気」や「障害」というのもまたひとつの社会規範ですね。そして、そうした「規範」の「型（コード）」を破っていく場が「ダンスフロア」なのだということかもしれません。

私たちが普段行っている「対話」というものは、各々が立場やジェンダー、文化など様々な「規範」に縛られているためにしばしば「不調」に陥ります。よくコミュニケーション能力とか言いますが、それは雑談やお喋りが円滑にできることではなくて、きっとそうした「規範」の束縛から自由になって「不調」から抜け出していける力のことなのかもしれません。あのワークショップのなかで、みんなでやっていたこととはそういうことだったと思います。今回、このような貴重な経験に恵まれたことに、関係者のみなさんに感謝したいと思います。

“制約” 中的 “自由”

向谷地 宣明 MCMedian 董事长, NPO 法人 BASE 代表董事

二高、听说你在 Bethel House 驻留的两周和大家的交流十分愉快。也听说在 Bethel House 的成员不少人想念你。

很遗憾当时我没能和你一起去浦河，但我在东京等地参加的“二高工作坊”不是一般人想象的典型“舞蹈”那样必须记住一套套的动作才能舞蹈，而是更加即兴的共同创造的东西。

比如，当时组成的搭档抓住了我的肩膀时，我也呼应对方去摸对方的背。于是，对方又转身摸我的膝盖，在这种破天荒的连锁中变成了连自己都意想不到的动作。

在与他人（合作伙伴）的动作相呼应的“制约”下，“自由”行动的时候，他人绝对不是障碍，而是告诉我们，这其中会产生更丰富的可能性和表现形式。那就是人类集体活动的本质吧。

所以在这个漩涡中大家的样子和在平时的程序中看到的不同，我再次意识到，他们有着如此五彩缤纷的能量。

在这其中，我始终感觉到的是一种“不规范”的做事方式和创造空间。由于没有明确的“规范”（编舞），基本上不存在“会不会”的问题，用各自的方法参加就可以了。因此，没有任何“障碍（disability）”。这一点二高也说明过，所谓“舞池”，是从立场、性别等所有社会规范中产生的“自由空间”。

“自我”原本就属于各种各样的“规范”。“病症”和“残障”也是一种社会规范的状态。所以，

“舞池”也许就是一个打破这种“规范”的“形式（代码）”的地方。

我们平常进行的“对话”，由于各自被立场、性别、文化等各种各样的“规范”所束缚，所以常常并不顺利。经常说沟通能力之类的，但这并不是能够圆滑的杂谈和说话，一定是在这种“规范”的束缚中也可以自由地摆脱这种不顺利的能力吧。我觉得那个工作坊中大家一起做的事情就是这样的。

这次能有如此宝贵的经验，我想在此向相关人员表示感谢。



べてるの家の東京拠点「BASE」にて行われた、アーガオによるダンス・ワークショップの様子と、参加したメンバーとの集合写真（2020年1月16日）

在 Bethel House 的东京据点 BASE 举办的二高工作坊，与成员合影

Workshops

コンテンポラリーダンス・グループ「新人Hソケリッサ!」をゲストに迎え、参加者はアーガオがべてるの家で印象に残った経験と記憶をもとに身体を動かしたり、持ち寄った子どもの頃の写真とエピソードから想像を膨らませた即興ダンスをグループに分かれて創作、披露しました。身体の記憶がどのように「自己」を形成しているか、その発見を他者の身体性を通して楽しみました。

即興のダンス・ワークショップ 「日々を踊ろう」 消えゆくものと、現れる記憶」

日程 | 2020年2月24日(月・振休)
会場 | SHIBUYA PARCO 9F
クリエイティブスタジオ GAKU(東京都渋谷区)
対象 | 子ども〜大人
参加人数 | 25名



photo : Yukiko Koshima

現代舞団「新人H Sokerissa!」作为嘉宾，参加者根据二高分享在 Bethel House 的经验和回忆来进行肢体动作。参与者们还分成小组，根据参与者带来的童年照片和故事发挥想象，创作了即兴舞蹈。我很期待通过他人的身体去发现，身体的记忆是如何形成“自我”的。

即兴舞蹈工作坊 《每天舞蹈吧 | 消失的东西和出现的记忆》

日程 | 2020年2月24日(星期一)
地点 | 涩谷 PARCO 9F
创意工作室 GAKU(東京都渋谷区)
対象 | 从儿童到成人
参加人数 | 25



photo : Yukiko Koshima

ひだクリニックに併設するデイケア「るえか」はべてるの家と関係が深く、ワークショップにはデイケアのメンバーやスタッフが参加しました。開始前の会話で話題になった「お風呂の習慣」にちなんで、大きな浴槽に浸かりマッサージをするイメージで身体をほぐしたり、マイケル・ジャクソンの曲に合わせてウォーミングアップ。アーガオがべてるの家の節分イベントで踊った鬼のダンスを映像で共有したあとに、「ひなまつり」の歌詞に合わせたオリジナルの振り付けをグループに分かれて考え、その即興ダンスを発表しました。

日程 | 2020年2月26日(水)
会場 | ひだクリニック内デイケアるえか
(千葉県流山市)
参加人数 | 30名

实施工作坊的场所 Hida 诊所同设的日间护理设施“Rueka”与 Bethel House 关系密切，日间护理的成员和工作人员参加了此次活动。根据工作坊开始前谈到的“洗澡的习惯”，我们一边想象泡在大浴缸里做按摩来放松身体，配合迈克尔-杰克逊的音乐来热身。二高分享了在 Bethel House 的节分活动时跳的鬼舞的视频之后，根据歌曲《女儿节》的歌词分组来编舞，并发表即兴作品。

日程 | 2020年2月26日(星期三)
地点 | Hida 诊所日间护理 Rueka
(千葉県流山市)
参加人数 | 30名

自由な躍動と抵抗の場としての身体

アオキ 裕キ ダンサー・振付家、「新人Hソケリッサ!」主宰

「技術の発展によって人間が分断されていく状況は、中国も日本も同じだと感じた。」

これはアーガオの言葉です。彼はまた、現実生活の中の身体性が少なくなっていくとも言いました。こうして、ボタン一つで機械が仕事をこなしていくような利便性を追求した技術発展は今や歯止めなく進み、この先、人間が混ざり合い、個の特性をそれぞれ生かし合って協力をするという手段はますます失われていくように感じます。

アーガオのワークショップは、まさに欠けゆく「繋がりと創造」をテーマに構成されていました。渋谷 PARCO の GAKU を会場に、北海道浦河町のべてるの家に滞在した記録映像から、歌好きなメンバーによるビートルズの『レット・イット・ビー』を流して東京の参加者が踊るという、身体を通した北海道との繋がりがとても良く考えられ、参加者が持ち寄った、過去に馴染んだ記憶を表す写真をグループでシェアし、参加者それぞれがもつ過去の記憶を繋ぎ合わせ連想を加えた身体の動きを創作することからは、個人と集団の「理想のあり方」を感じました。

また、千葉県流山市にあるひだクリニック併設のデイケア「るえか」でのワークショップは、

特に全体がテンポ良く進みました。思考中心になりがちな日常において、その関与を抑え感覚的な身体の反応を優先することは、精神的な病を抱えた人にとって有効だと想像します。理想の完成形に個人を矯正するのではなく、それぞれの人生を歩む個人が存在し、出会い、そこにしか生まれ得ないものを大切にすることなど、こうしたワークショップは愛情を根底に構築された「安心して自由に躍動できる場」であると確信しました。

この先、身体のコミュニケーションはますます特別なことになるかもしれません。僕と一緒に踊る路上生活経験者は、「踊ることによって、一般の生活をしている人たちと隔てなく関わる機会を得られた」と話します。精神的な病を抱えた人も含め、誰もが境遇や世代に関係無く、個を活かし合う開かれた場作りが日常化して習慣化することが重要だと思います。

冒頭の言葉を放ったアーガオのアプローチは、まさに「分断に対する身体の抵抗」であり、彼のピュアさとあいまって、その強度には目を見張るものがあります。ジャンルを意識しないその活動は、競うことに特化しがちな今の世の中が欲しているのです。

使身体成为一个自由跃动和自由抵抗的场所

青木 祐基 舞者・编舞家、「新人H Sokerissa!」主持

二高说，“随着科技发展人类被分割的情况，我感觉在中国和日本都是一样的。”他还说，在现实生活中身体性越来越少。像这样，一按按钮机器就能完成工作的便利技术正在被人们毫无止境地追求着。我们感到在未来，人类正在渐渐丧失交织在一起发挥各自所长齐心协力的生活方式。

二高的工作坊正是由我们渐缺的“联系与创造”为主题展开的。

在东京涩谷 PARCO の“GAKU”会场，二高播放了在北海道浦河町の Bethel House 住宿时记录的视频，其中有一位喜欢唱歌的成员唱着披头士的《Let It Be》，随着视频，在东京的参与者舞蹈。通过身体和北海道的成员们产生联系十分引人思考。工作坊的参加者们各自带来有过去记忆的照片，分成组互相分享各自的故事。参加者各自的记忆连结在一起并加以联想用动作进行身体创作，令我感受到了个人和团体的“理想状态”。

在千叶县流山市的飞弹医院的老人之家 Rueca”的工作坊进行得很有节奏。我觉得如果能淡化这种在日常生活中以思考为中心的习惯，优先于感性的身体反应多一点的话，对精神病患者们是很有帮助的。并不是将个人纠正成理想的完成形态，而是要珍惜各个人生路上的邂逅、以及只有在那里才能获得的东西等，我确信这样的工作坊是在爱的基础上建立起来的“可以安心自由跃动的场所”。

未来，身体的交流可能会变得越来越特殊。和我一起街头跳舞的人说：“通过跳舞，我得到了和一般生活的人们没有隔阂地交流机会。”我认为应该创造一个与个人境遇和年龄无关而是将个体活用的开放空间，包括有精神疾病的人在内。并且将这个空间去日常化和习惯化是十分重要的。

开头所说的二高的做法正是“身体对分割的抵抗”，再加上他的纯粹，其强度令人震撼。这种没有流派意识活动，正是当今倾向于特化竞争的世界所需要的。



路上生活経験者によるダンスグループ「新人Hソケリッサ!」を追ったドキュメンタリー『ダンシングホームレス』（監督：三浦 渉、2019）

© Tokyo Video Center

有在街头生活经验的人组成的舞蹈团体“新人 Sokerissa!” 的纪录片《Dancing Homeless》（导演：三浦 渉、2019 年）

協働団体

べてるの家

1984年に北海道浦河町の教会の片隅で始まった、精神障害を抱えた人たちが病院ではなく地域で安心して生活するための地域活動拠点。統合失調症などを持つ当事者自ら「自分の専門家」として、生きる苦勞と付き合う方法を仲間と一緒に研究する「当事者研究」の実践で知られている。当事者が主体的に表現し、弱さや経験をひらくことで繋がりをつくる研究は、社会に潜むさまざまな課題とも密接な関わりが見られる。これまで、AITが開講する現代アートの学校MAD「フクシとアートのラボ」や浦河町で毎年開催される「べてるまつり」の視察ツアーで協働した。

広東時代美術館

2010年、広東省広州市に開館した私設美術館。建築家レム・コールハースが設計し、1階のエントランス部と19階に二つの展示スペースを持つ。近年はドイツのベルリン・ミッテ地区にも分館を新設した。コミュニティや地域に積極的な介入を試み、その眼差しから導き出される展覧会やプロジェクトも企画。広州のみならず国内で顕著な生活環境の変化のもと、国内外のアーティストのほかに文化人類学者や農村部で活動するNGOと連携し、文化施設としての役割を重視しながら対話を生み、その変化をドキュメントするなど、さまざまなプログラム展開を行う。

合作団体

Bethel House

1984年、始于北海道浦河町一座教堂の角落。为了精神障碍患者们可以不在精神病院而安心生活的地域性社区活动基地。精神分裂症患者等作为“自己的专家”，一起研究如何应对生活的艰辛，Bethel House以“当事者性研究”的做法而闻名。通过当事人的主动表达，开放自己的弱点和经验来建立人际关系的研究与社会潜藏的各种问题密切相关。Bethel House已经合作过AIT主办的当代艺术学校“福利与艺术实验室”，以及每年在浦河町主办的“Bethel节”采访计划。



广东时代美术馆

是2010年在中国广东省广州市创办的非营利艺术机构。由建筑师雷姆·库哈斯与阿兰·弗劳克斯设计，其功能分散在社区住宅建筑的数个不同层面上，成为一种与生活居住空间直接交叉的介入式结构。近年在欧洲创办平行机构——时代艺术中心（柏林）。积极尝试介入社区和地域的活动，从而企划了从这一角度出发的展览和项目。在国内的激烈的生活环境变化中，除同国内外艺术家之外，也与文化人类学者和在农村地区工作的非政府组织合作，强调作为一个文化机构来提供对话的场所，并记录当下发现的变化过程等，同时企划各种各样的活动。



アートイニシアティヴトウキョウ

NPO法人アートイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト] は、現代アートと視覚文化を考えるための場づくりを目的として、キュレーターやアート・オーガナイザーなど6名の立ち上げメンバーにより2001年に設立、翌年に法人化した。個人や企業、財団あるいは行政と連携しながら、現代アートの複雑さや多様さ、驚きや楽しみを伝え、それらの背景にある文化や社会の様相について話し合う場を、さまざまなプログラムを通して創り出している。近年のアーティスト・イン・レジデンスプログラムでは、多領域に渡る創作活動と思考を合わせ持つアーティスト、キュレーター、ライター、エディターなどを迎え、複数の団体と協働して滞在場所と専門分野を横断させ、レジデンスプログラムの実践から国際的に接続する社会課題と芸術文化の関わりにも着目している。

謝辞

本プログラム実施にあたり、多大なご協力を賜りました下記の方々に深甚なる感謝の意を表します。
[順不同・敬称略]

社会福祉法人 浦河べてるの家
NPO法人 BASE
医療法人社団宙委会 ひだクリニック
医療法人薪水 浦河ひがし町診療所
新人Hソケリッサ！
クリエイティブスタジオ GAKU

向谷地 宣明	横内 真人
向谷地 悦子	小磯 松美
樋口 倫崇	西 篤近
伊藤 知之	渡邊 芳治
津野 青嵐	伊藤 春夫
泉 望	平川 収一郎
鈴木 裕子	山下 幸治
東 大地	高越 規嗣
高田 大志	武田 悠太
泉 祐志	波戸 万里子
立花 泰彦	ヴェロニカ・ウオン
藤野 浩之	パン・シミン
アオキ 裕キ	ワークショップ参加者のみなさん

Arts Initiative Tokyo

NPO法人 Arts Initiative Tokyo [AIT] 是由6名策展人和艺术组织者于2001年设立的NPO，旨在创造一个思考当代艺术和视觉文化的空间。AIT和个人、公司、基金会、政府机构等合作的同时，传达当代艺术的复杂度和多样性、惊讶与快乐，通过各种项目，创建出了当代艺术背景下讨论文化和社会状况的场所。近年来，AIT迎来了具有跨领域创作活动和思考能力的艺术家、策展人、作家和教育家，与多个组织和学科合作，关注艺术和文化与国际相关社会问题之间的关系。



鸣谢

在此感谢以下人员在实施该计划过程中的合作
(顺序无关、敬称略)

Bethel House (北海道浦河)
NPO法人 BASE
医疗法人社団宙委会 Hida 诊所
浦河东町诊所
新人H Sokerissa!
创作工作室 GAKU

向谷地 宣明	横内 真人
向谷地 悦子	小磯 松美
樋口 倫崇	西 篤近
伊藤 知之	渡邊 芳治
津野 青嵐	伊藤 春夫
泉 望	平川 収一郎
鈴木 裕子	山下 幸治
東 大地	高越 規嗣
高田 大志	武田 悠太
泉 祐志	池戸 万里子
立花 泰彦	王 莉莉
藤野 浩之	潘 思明
青木 祐基	参加工作坊的所有人员

AIT (東京) — 広東時代美術館 (中国・広州) — べてるの家 (北海道・浦河) による協働レジデンスプログラム
「アート、精神、コミュニティ」

〔イベント〕

通訳 樋口 倫崇 (2/5)、清水 恵美 (2/24)、池田 リリィ茜藍 (2/26)
写真撮影 泉 望 (2/5)、越間 有紀子 (2/24、2/26)
動画撮影 折笠 貴、藤井 康之 (2/24)
サポート 青木 祥子、大隈 理恵 (AIT)

〔記録冊子〕

発行日 令和 2 年 3 月 31 日
発行 NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト]
編集 堀内 奈穂子、東海林 慎太郎、藤井 理花 (AIT)
執筆 アオキ 裕キ、向谷地 宣明、樋口 倫崇、ヴェロニカ・ウオン、アーガオ、堀内 奈穂子
翻訳 清水 恵美 (中文)、ジェイミー・ハンフリーズ (英文)
デザイン 塚田 佳奈 (ME&MIRACO)
企画・制作 堀内 奈穂子、東海林 慎太郎、藤井 理花 (AIT)
主催 NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト]
協力 時代美術館、社会福祉法人浦河べてるの家

レジデンスプログラム 2020 年 1 月 14 日～2 月 29 日

AIT (東京) — 广东时代美术馆 (中国广州) — Bethel House (北海道浦河) 合作艺术驻留项目
“艺术，精神，社区”

〔活動〕

翻译 樋口 倫崇 (2月5日)、清水 恵美 (2月24日)、池田 Lily 茜藍 (2月26日)
摄影 泉 望 (2月5日)、越間 有紀子 (2月24日、2月26日)
视频 折笠 貴、藤井 康之 (2月24日)
支持 青木 祥子、大隈 理恵 (AIT)

〔记录手册〕

发行日期 2020 年 3 月 31 日
发行 NPO 法人 Arts Initiative Tokyo [AIT]
编辑 堀内 奈穂子、東海林 慎太郎、藤井 理花 (AIT)
供稿人 青木 祐基、向谷地 宣明、樋口 倫崇、王 莉莉、二高、堀内 奈穂子
翻译 清水 恵美 (中文)、杰米 — 汉弗莱斯 Jaime H (英文)
设计 冢田 佳奈 (ME&MIRACO)

企画・制作 堀内 奈穂子、東海林 慎太郎、藤井 理花 (AIT)
主办单位 NPO 法人 Arts Initiative Tokyo [AIT]
合作 Bethel House (北海道浦河)、广东时代美术馆

艺术家驻留 2020 年 1 月 14 日～2 月 29 日

助成／支持

 令和元年度(平成31年度)文化庁アーティスト・イン・レジデンス活動支援事業
2019 年日本政府文化庁驻留艺术家活动支持事业